

みずほCustomer Desk Report 2023/06/15号 (As of 2023/06/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	140.09
TKY 9:00AM	140.15	1.0790	151.20	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	140.28	1.0865	151.78	1.2606	0.6770
SYD-NY Low	139.29	1.0774	150.94	1.2699	0.6835
NY 5:00 PM	140.11	1.0832	151.75	1.2601	0.6756
	140.11	1.0832	151.75	1.2661	0.6796
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	33,979.33	▲ 232.79	日本2年債	▲0.0700%	0.0100%
NASDAQ	13,626.48	53.16	日本10年債	0.4300%	0.0100%
S&P	4,372.59	3.58	米国2年債	4.6933%	0.0175%
日経平均	33,502.42	483.77	米国5年債	3.9927%	▲0.0078%
TOPIX	2,294.53	29.74	米国10年債	3.7891%	▲0.0359%
ソコ日経先物	33,575.00	75.00	独10年債	2.4410%	0.0165%
ロンドンFT	7,602.74	7.96	英10年債	4.3880%	▲0.0380%
DAX	16,310.79	80.11	豪10年債	3.9850%	0.0740%
ハンセン指数	19,408.42	▲ 113.00	USDJPY 1M Vol	8.93%	▲0.01%
上海総合	3,228.99	▲ 4.68	USDJPY 3M Vol	8.96%	0.01%
NY金	1,968.90	10.30	USDJPY 6M Vol	9.22%	0.05%
WTI	68.27	▲ 1.15	USDJPY 1M 25RR	▲0.79%	Yen Call Over
CRB指数	260.27	▲ 0.54	EURJPY 3M Vol	8.49%	0.17%
ドルインデックス	102.95	▲ 0.39	EURJPY 6M Vol	8.93%	0.12%

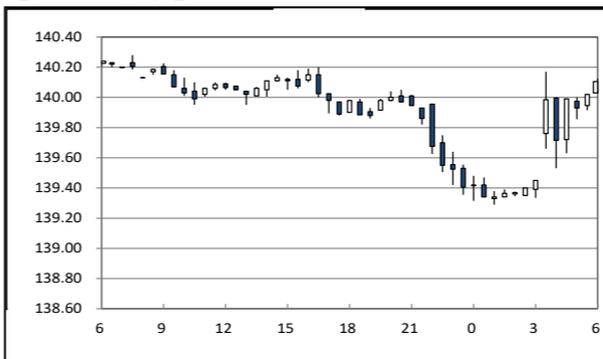
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月14日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 -0.3%/-1.9%	-0.1%/-1.7%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	5月 -0.3%/1.1%	-0.1%/1.5%
6月15日	03:00	米 FOMC 政策金利	14-Jun 5.00%-5.25%	5.00%-5.25%
	03:30	米パウエルFRB議長 会見	「一定の追加利上げを実施することは適切」	

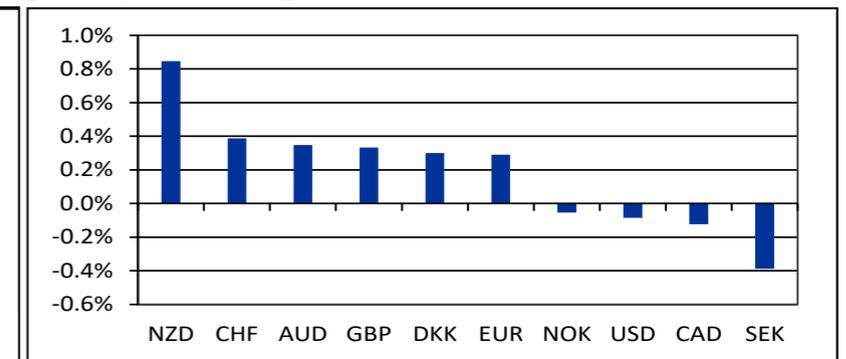
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月15日	08:50	日 貿易収支	5月 ¥-1,286.8B	¥-432.4B
	10:30	豪 雇用者数変化	5月 17.5K	-4.3K
	10:30	豪 失業率	5月 3.7%	3.7%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	5月 3.5%	5.6%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	5月 13.7%	18.4%
	21:15	欧 ECB主要政策金利	15-Jun 4.00%	3.75%
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	5月 -0.2%	0.4%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	10-Jun 245K	261K
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	6月 -15.1	-31.8
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	6月 -14.0	-10.4
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	5月 0.1%	0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	139.30-140.90	1.0800-1.0950	150.50-152.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル/円は、FOMC前に公表された米国5月PPIが前月比▲0.3%と市場予想(同▲0.1%)を下振れる結果に139円前半まで円高が進行。注目されたFOMCは、政策金利据え置きも、今後の政策金利見直しは上方修正。23年末中央値は5.625%と3月の5.125%から50bp引き上げられたほか、パウエル議長は「大半のFRB当局者が年内の追加利上げは適切と判断」と発言するなど、年内の更なる利上げを示唆するタカ派的な内容となった。米金利はフロントエンド中心に上昇、2年債利回りは公表後18bp程度上昇するもその後はじりじりと下げる展開。ドル円も140.17まで上昇し140.11付近でNYクローズとなった。ドットチャートはサプライズと受け止められたものの、米短期金利の動きは比較的安定した推移になっており、FRBがインフレ抑制に強い姿勢を示す一方、市場は冷静に受け止めている様子。引き続き今後の政策の方向性はデータ次第とする中、今月のCPI、PPIが概ね予想内に収まっており、ドルを買い進む動きは強まりにくそう。一方で株式市場は底堅さを維持。センチメントの改善が進む中、ドル円も底堅く推移しそう。本日は、140円を挟んだレンジ推移を予想する。

東京	東京市場は140.15レベルでオープン。4日ぶりの140.00円台にドル売り優勢で取引開始。仲値にかけて売り買いが交錯した後、米金利低下の流れに139.95まで下落した。午後に入ると、日経平均株価が堅調に推移する中クロス円を中心に円安が進み、底堅く推移。結局、140.08レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、140.08レベルでオープン。午後FOMCを控え、若干のドル安で推移し、結局139.93レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2609レベルでオープン。英4月GDPが予想通り堅調な数値となり、ドル安の中で1.2650まで上昇し、結局1.2648レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は140円台前半でスタート。日経平均株価が3万3000円台を付け、年初来高値を更新する堅調な展開を背景に、ドル円も140円台前半での底堅い推移を見せるも、持ち高調整が入り、小幅反落し139.93レベルでNYオープン。朝方に発表された米5月コアPPI(前年比)では予想を下回るなど、米インフレ減速が意識され、139円台前半まで下落する。午後は注目の米6月FOMC政策金利が発表され、予想通り据え置きとなるも、年内であと2回程追加利上げの可能性がある見方が示され、ドル買いで反応し、140.17まで急伸する。続いて行われたパウエルFRB議長のインタビューでは、「一定の追加利上げを実施することは適切と判断している」と発言するも、「7月については何も決定していない」との見方も示され、半年内での2回の利上げの見方が疑問視され、139円台前半まで売られる。終盤は再び140円台を回復し、140.11レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。欧州株式市場が前日の米株高の流れを引き継いだことから、ユーロ買いが優勢となり、1.08台に乗せ、その後1.0804レベルでNYオープン。朝方は芽えない米経済指標の結果を受け、ドルが売られる中、1.0865まで値を上げる。午後は米FOMCの内容を受け、1.0802まで下落する場面も見られたが、その後は下げ渋り小幅反発し、1.0832レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松永・鈴木